

### 年末・年始の本部書記局

いつも組合運営にご協力頂き、有難うございます。年末年始の業務は下記のように行います。

- ◆年末 令和6年12月27日(金)の午前中まで
- ◆年始 令和7年1月6日(月)の午前9時から



発行所  
奈良県建築労働協同組合  
橿原市小綱町9番8号  
電話 (0744) 22-5115 (代)  
FAX 22-9111  
発行人 本部執行委員会  
http://www.narakenchiku.com  
access-mail@narakenchiku.com

## － 第76回定期大会 － 規模・時間共に縮小 国会請願採択の歴史的成果を力に、 賃金・単価引き上げ、組織増勢を勝ち取ろう！



大会議長を務められた森田氏と花岡氏

11月17日、第76回定期大会を組合本部会館で開催しました。今大会も昨年に引き続き、規模、時間共に縮小開催となりました。出席代議員19名(委任10名)・執行部16名・青協1名・会計監査1名、参役4名・計41名のもと大会の幕が上がりました。

安田副委員長の開会挨拶後、番匠運営委員長より大会成立宣言を行い議長団と大会書記の諸役員を選出しました。

森田成樹議長より議長団紹介挨拶の後、中委員長より執行部代表挨拶があり、続いて高齢組合員(59名)ならびに組織拡大功労者(13名)の表彰者名披露を行いました。各支部で新規加入者目標人数を定め目標達成に向け一丸となり取り組み、「実増」を成し遂げられた支部の披露に続き、役員功労者氏名を読み上げ感謝の意を表しました。

花岡年議長に交代後、能

城書記次長が経過報告、橋本財政長より6年度決算報告を行い、会計監査報告は奥村宏監査役(天理)より報告が行われました。

運動方針案は松井書記長より提案。仕事職域確保に向けた運動として住宅リフォーム助成制度創設と再開を求めた運動の継続と強化。地域に密着したイベントに参加し住宅相談や木工体験を通じ建築職人の啓発をすすめる。組織拡大運動は2200名組織を守り抜き、2300名への早期回復を図るためにも、一人ひとりの仲間が自分の働く現場で組合宣伝を進めることへの協力をお願い。中建国保の育成強化では国庫補助金削減と加入者減により運営が厳しく、はがき要請や議員への要請行動の継続。労災加入促進と啓発運動や税金申告活動の支援強化等について提案を行いました。

予算案は橋本財政長より提案、全員の力強い拍手で提案通り可決承認されました。大会スローガンである「團結こそが低迷の中で安定を築く力、組合を軸に職人道義をうちたて仕事と生活を守ろう」を力強く唱和しました。

新役員並びに本部執行委員についても承認されたのち、新役員を代表して中委員長より挨拶があり、閉会の辞は新しく就任された吉川副委員長より挨拶、そして團結ガンパロウを三唱し、諸要求実現に向けさらなる團結を誓いました。



諸要求実現に向け、團結ガンパロウ！



新年度役員より挨拶 (左から3人目が新しく就任された吉川副委員長)

#### 組織拡大の実増達成支部表彰

奈良支部
都祁支部
北葛支部

#### 役員功労者表彰(敬称略)

支部	組合員名
北葛	中 巖

※下記の職務をいずれか経験し退任  
本部執行委員10年以上  
支部長5年以上若しくは参役3年以上

#### 組織拡大功労者表彰(敬称略)

支部	組合員名	支部	組合員名
奈良	岡本 龍二	北葛	大内 浩
	植原 賢治		藤井本 正明
生駒	池田 浩二		元神 満治
	瀧口 宏	吉村 朋久	
天理	池田 吉範	香芝	西北 蒼
	平川 善久		和田 全示
		橿原	浅岡 政則

#### 大会諸役員

議長団	森田 成樹 (桜井)	花岡 年 (橿原)
運営委員長	番匠 薫 (五條)	
運営委員	瀧口 宏 (生駒)	

顧問	中 巖 (北葛)	副委員長	安田 圭助 (橿原)	令和7年度・新役員
書記長	松井 宏之 (北葛)	委員長	中 和貴 (天理)	
財政長	橋本 定晴 (郡山)			
会計監査	中尾 雅裕 (北葛)			
	安田 章男 (田原本)			
	山本 勝康 (香芝)			
	西村 公允 (北葛)			
	松本伸日児 (奈良)			
	清水 幹夫 (斑鳩)			
	中西 良夫 (宇陀)			

高齢者組合員功労者表彰(敬称略) (昭和24年生まれ75歳)

Table with 4 columns: 支部, 組合員名, 支部, 組合員名. Lists names of members from various branches like 奈良, 宇陀, 檀原, etc.

ふれあいフェスタに参加

耐震シエルト展示・まな板削りで地域に組合をアピール!

11月3日(日)に第29回香芝ふれあいフェスタ2024が香芝市役所周辺で開催されました。前日の警報が出たほどの雨降りとは打って変わり最高の秋晴れとなりました。子供向けイベントとして丸太切り体験をしてそれを自分のコースターとするようペーパーをあててもらいました。来場者が持参した「まな板」を削ってあげるのは大変好評で



まな板削りや端材無料配布が好評

しても是非本腰を入れて周知してください」とお願いしました。後日発刊した香芝市お知らせ版には、大きく一面に「耐震診断と耐震工事、耐震シエルトへの補助金が本年度分残っていますので急いで申し込みを！」と掲載してくれました。このイベントは市民活動に携わる多種多様な人々の交流が目的となっており、香芝市に在住する私たち建



関西の仲間がゴーカートで熱い闘い

奈良建築青協活動 関西青協スポーツ交流会 ゴーカート大会に30名参加 個人戦は奈良が1・2・3位を独占

11月4日(日)に生駒市の生駒阪奈ISK奈良阪奈店において関西青協主催のスポート交流会・ゴーカート大会が開催されました。奈良建築からは生駒支部の山下さんと久保さん、香芝支部の谷口さん、檀原支部の浅岡さん、五條支部の山崎さんと西前さん、全国幹事の宇野さん、増田副議長と議長の中田、そして関西の仲間を含め30名が参加。カートコースでは異例の高低差があるコースでスタート直後は一気に頂上まで駆け上がり、高速コーナーと3つのヘアピンで駆け下ります。2番目のヘアピンはシケインになっており、下りながらコーナリングとブレーキングが必要な名物コーナーです。1試合目は個人戦で5周タイムアタックのベストラップで競い、奈良青協は1・2・3位を独占し、1位は五條の山崎、2位は生駒の宇野、3位は香芝の谷口が入りました。2試合目は県連対抗戦で1チーム6人、各々5周走ったベストラップの合計で競い合いました。3試合目はシャッフルチーム戦で1チーム6人、40分耐久レースで、1人最低5周走るリレー方式。1位のチームは57周走りました。競技中は笑い声が絶えず、良い感じでの競技となり、決戦は真剣モーター

北葛支部

第76回定期大会

11月10日に北葛支部会館において第76回定期大会が開催されました。今大会も感染拡大防止措置として、少人数・時間短縮・消毒・換気等を徹底し行いました。

議長は大内副支部長が務め、初めに組合員・家族の物故者に黙祷が捧げられ、続いて松井支部長より挨拶、支部慰労共済・支部功労者の表彰者の発表と厳かに進められました。活動経過報告並びに財政決算報告・令和7

年度予算案を提案されすべて可決しました。

また、役員改選では支部長には松井宏之氏(現)、副支部長には大内浩氏(現)、元神満治氏、財政長には藤井本正明氏(現)、会計監査は宇井孝成氏(現)・新谷嘉史氏(新)、顧問は西村公允氏(現)・中巖氏(現)が選出され、盛大な拍手をもって皆様の承認を受け就任されました。

最後に支部定



松井支部長より今年度の運動方針案を提案

期大会スローガン「組合を軸に職人道義をうちたて、仕事と生活を守ろう!」を声高らかに唱和し、今期の第一歩を踏み出しました。

(通信員 岡本真樹記)

吉野支部 丹波篠山から兵庫県湯村温泉へ親睦旅行



全員にこやかに砂の美術館前で撮影

吉野支部としては5年ぶりになります。10月27から28日に一泊二日の親睦旅行が行われ、行先は兵庫県湯村温泉。支部長以下組合員家族合わせ20名の参加で、湯村の名湯につかり日頃の疲れを癒しながら、和気あいあいと親睦を深めることができました。

二日目は鳥取まで足を延ばし、鳥取砂丘や砂の美術館を見学しました。砂を使った作品は繊細で素晴らしく圧巻でした。個人倒されました。個人的にはまちづくりに興味があったので、初日の丹波篠山での歴史的な建物の保存地域の見学や空き家を使った宿泊拠点(NIPPONIA)の視察ができてすごく参考になりました。毎年開催するのはなかなか難しいと感じますが、こうやって組合員みんなで懇親を深めつなげる機会をこれからも作っていただければいいなと思っています。(副支部長 南達人記)

生駒支部

幼稚園で木工教室

10月21日と22日の2日間に渡り、生駒幼稚園にてスクールボランティア木工教室を行いました。支部からの参加者は支部長はじめ12名です。

両日合わせて40名の園児が製作するのは、コリントゲーム(どんぐりを玉に見立てて手元で傾けることでコロコロ転がせて遊ぶパチンコ台のようなもの)です。事前に園児に絵を描いてもらったA4サイズの板材に、当日は園児が額縁を鋸で切り、

釘で留めたあと、ビー玉やどんぐりが転がって行く道をつ手伝いをします。みんな初めてのことで一つ一つの作業に悪戦苦闘していました。そのがんばる姿は大工さんそのものでした。



園児はコリントゲーム台作りにも悪戦苦闘

「トントントン」と、一心不乱にクギを打つ音は定刻まで園内に鳴り響き渡り、時間が来ても、まだまだクギを打ちたいと言ってくれた多くの園児たちでありました。この体験がものづくりにへの興味や関心のきっかけになり、また、幼稚園行事の思い出にたっとなっていただけたのだとしたら、これからもこの組合活動を続けていく上での何よりの成果であります。(中分會 田端信哉記)

桜井支部

組織拡大行動

10月25日の午後から組織拡大行動を実施しました。副書記長の北浦さん・会計の左海さん・支部長の福嶋が参



役員3名と本部書記で組織拡大パトロール

加して、市内の現場を加入パンフレットとティッシュを持って現場を訪問しました。合計4カ所の現場で声を掛けることができました。3カ所の現場はそれぞれ支部の近く・上之庄・赤尾にあり、「組合加入していませんか?」と声掛けをしたところ、「組合に入っているよ」ということで安全作業と未加入者の紹介をお願いしました。

残る1カ所は大福にありました。加入しているか尋ねたところ「どの組合に加入しているかわからない」とのことだったので、組合の紹介と安全作業をお願いすると声掛けをしました。これからも地道に声掛けをして一人でも多くの方に興味を持っていただけたらと思うので、頑張っていきたいと思っています。(支部長 福嶋三泰記)

組合員さん限定! コーナンPRO

コーナンPROと建築組合の提携がスタート。近畿二府四県で3%割引

「三条大路店・香芝店に加え、河合町に西大和店がオープン」

お買い物の際、レジで組合カードを提示することで、3%の割引が受けられるようになりました。現金&クレジットカードどちらも可。

早朝から営業していることで、プロ向けの住宅建材・用品を専門に扱う同店は120店舗が営業していますが、今回の奈良県建築組合との業務提携で3%の割引が受けられるのは関西エリアの店舗となります。

提携店舗は、近畿2府4県のコーナンPRO・WORK&TOOL全店となりますが、「ホームセンターコーナン」及び「コーナンドイト」店舗は対象外ですのでご注意ください。



※組合カードは各支部を通じてお渡しさせていただきます。



入者の紹介をお願いしました。残る1カ所は大福にありました。加入しているか尋ねたところ「どの組合に加入しているかわからない」とのことだったので、組合の紹介と安全作業をお願いすると声掛けをしました。これからも地道に声掛けをして一人でも多くの方に興味を持っていただけたらと思うので、頑張っていきたいと思っています。(支部長 福嶋三泰記)

# 全建総連第65回定期大会が横浜市で開催

## 国会請願採択の歴史的成果を力に、賃金・単価引き上げ、組織増勢を勝ち取るう!

10月23日～10月25日に神奈川県横浜市で全建総連第65回定期大会が開催され、本部より3名が参加しました。

全国の建築職人仲間が参集し、この厳しい建設不況打開と賃金労働条件の改善・建設国保の育成強化等に向け、1日目の全体会議で経過報告と運動方針案提案がされ、各県連組合代表議員より質疑応答や意見や要望が出されました。

2日目の各分科会では、住宅部会が高齢化社会が進む中「点検商法」の被害が都市部だけでなく全国に拡大しており、いまこそ私たちが住宅まつりやイベント等で町場の担い手意識を深め、大企業にできない地域活動を行ない地域の信頼をえていく。また、地域の建設技能者の組合だからこそできる取り組みを進展させ、住民とともに災害に強いまちづくりを進めていく。

労働対策ではアスベスト被害の救済と根絶、安全衛生活動のさらなる強化、建設工事従事者の権利確保の方針の確立と更なる前進を目指すこと。組織対策では一極集中した拡大から、多様化した事業での拡大へのシフトチェンジを加速させ、持続可能な組合とすべく、深刻化を増す高齢化、その克服のための「若年層拡大」と「事業所の育成と拡大」への挑戦を運動の柱に進めていく。税金対策では導入されたインボイス制度の見直し、緩和措置の延長を求めて今後も運動を続けるとともに、増え続ける社会保障費に加え、大幅増となる防衛費の財源問題で、中長期的には消費税率引き上げなど大衆増税に向けた議論が始まる可能性があり、さらなる消費税率導入など大衆増税に反対する取り組みを進めていく。

技術対策では建設業の担い手確保・育成に向けて、キャリア教育の推進、資格取得や各種競技大会への支援、国等の助成・補助活用制度を活用した取り組みを進め、技能者の処遇改善や事業者の受注・経営改善に向けて取組む。賃金対策では働き方改革対応をすすめる、現場従事者の新3K(給料・休日・希望)実現、CCUSを活用した処遇改善、若年入職者・担い手確保、仲間一人一人が主体となった賃金単価引き上げ、要求運動を進めていくことを確認しました。

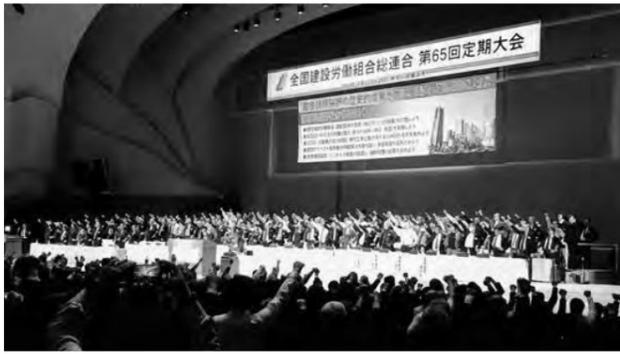
今大会を持って中西委員長と勝野書記長が退任し、新しく委員長には鈴木貴雄氏、書記長には小倉氏が選出されました。

大会スローガン「国会請願採択の歴史的成果を力に賃金・単価引き上げ、組織増勢を勝ち取るう!」が提案

採択され65回大会が終了しました。

全国大会の各専門部を、私たち地元組合の实情に照し合せ、組合員の仕事と職域確保に向けて、中心的な取り組みである住宅リフォーム助成制度を市町村全てに創設されるよう運動を継続し、また中建国保の育成強化や税金の一括申告の周知啓蒙と運動強化に向け取組んでいきます。

(本部書記 大井記)



組織増勢に向けて一丸となりガンバろう!

### 郡山支部 学齡期職業体験「ものづくり教室」レターケース作り

ものづくりの場を通して技術技能の大切さや素晴らしさを理解し、将来の職業選択の一助を担おうと、11月14日に大和郡山市立昭和小学校にてものづくり教室が開催されました。

小学校からは6年生15名が参加し、講師として郡山支部より田原裕起さん、田中利典さん、竹内徳広さんのご協力を頂き、レターケース作りの指導にあたりました。

一枚の杉板にさしがねを使って寸法取りをし、ノコギリで切断後、釘を20数本打っていく作業ですが、少し難しい作業については「ここ切ってください」「釘曲がったから抜いて」など、講師の方の技術を借りて一人で完成させます。最後に出来上がったレターケースを笑顔で抱きかかえて記念写真を撮りました。

ものづくり体験は自分の手で何かを作る喜びや楽しさを感じ取って貰うと同時に、建築に携わる人が身近にいることを実感してもら

える事業だと思えます。先生方からは学校で指導している時よりも、子供たちの目が「キラキラ」していたとの感想を頂きました。

最初は慣れないところもありましたが、無事に時間内に全員が仕上げる事が出来て良かったと思います。

学齡期職業体験「ものづくり教室」は継続し

てあります。



昭和小学校の生徒と講師の方々

であると思えますのでこれからもご協力頂きます様よろしくお願ひします。

(本部書記 中西記)

### 組合内事業所でも重大災害が多発しています。スレート屋根、梁からの転落事故が連続。

保護帽や安全帯着用・足場の設置などを順守し、安全作業に従事してください。

#### 元請現場で労働者を1人でも雇用している事業主は、一括有期労災に加入を!

下請の職人がケガした場合にも、事業主の責任となります。

##### 費用徴収制度

(1) 労災保険に加入せずに、労働者が労働災害が発生した場合、ケガが治癒するまでの治療費や休業補償等については一切補償しなればなりません。なお、労働災害後に労災保険に加入した場合には、災害に遭われた労働者やその遺族には労災保険は給付されます。ただ、「事業主」に対しては、「給付された金額の100%又は40%を徴収される厳しい罰則」があります。

(2) 事業主の故意又は重大な過失によって発生した業務災害で保険給付を行った場合には、事業主の注意を促すため、その保険給付に要した費用の一部を事業主から徴収することとなっています。この場合、保険給付額の30%が費用徴収となります。※費用徴収の対象となるのは、休業補償給付・障害補償給付・遺族補償給付・傷病補償年金・葬祭料のうち療養開始後3年間に支給されるもの。

重大事故や死亡災害が発生してから労災保険に加入しておけば良かった、安全衛生管理や墜転落防止対策を徹底しておけば良かったでは遅すぎます。一事業主の力ではとても対処することは出来ません。

### 菟田野支部 うたの手作りフェスタに参加

文化の日の11月3日(日)、菟田野古市場の「奈良カエデの郷ひらら」で「うたの手づくりフェスタ」が開催され、わが菟田野支部の役員も恒例の木製プラントナー制作、まな板・携帯・写真立て、お米販売のブースを出店しました。

今年より従来からの「夢街道実行委員会」に加えて、主催者として「奈良カエデの郷ひらら」と「グランソールグループ」が加わり、『輝けうたの!』と銘打ったこのイベントはかつてない賑わいを見せていました。建築組合メンバーは早朝7時に集合して先月6日の

草刈り奉仕のあと制作したプラントナー枠の資材をトラックに積み込み、校舎前でテントの設置を行いました。10時からの開場に合わせ事前にも大工職チームが寸法切り、穴明けを済ませた材料を手作りに興味がある方が組み立て、対候性と意匠性の向上のためにガスバーナーで炙る作業も自ら体験される方もいました。

盛大になった反面、売り場の立地に恵まれなく、昨年ほどの売り上げは達成できませんでした。好天の秋の一日をお客様と共に存分に楽しませてもらいました。夕刻、テントの片付けを終えて設営・撤収部隊としての役割も無事にこなし午後5時ころ解散しました。ご参加の皆さんお疲れ様でした。(副支部長 水分敦弘記)



揃いの黄色いジャンパーを着てプラントナー作り体験

### ～インフルエンザ 予防接種への補助～

#### 中建国保奈良建築支部からのお知らせ

インフルエンザ対策として、うがい手洗いも大事ですが予防接種が大変有効です。そこで中建国保奈良建築支部としても、仲間と家族のみなさんの健康を守ることを基本に考え、インフルエンザ(新型・季節)の予防接種に対する補助を行なっています。予防接種をされた中建国保の被保険者の方は、組合本ならびに支部まで補助金の申請をしてください。

- 対象者：接種日において資格のある中建国保の被保険者(組合員本人・家族)
- 対象：接種するインフルエンザの種類は流行性・季節性を問いません。
- 補助額：補助対象者1人当たり、年度内2回を限度に2千円を補助。
- 手続き：インフルエンザ予防接種補助金申請書に必要事項を記入し、予防接種をしたことがわかる書類(領収書の原本、接種証明や母子手帳の写しなどで、接種日・医療機関名・接種を受けたことがわかること)を添えて、組合本部または支部事務所・支部長宅までご提出して下さい。

奈良	134
生駒	178
山添	30
都祁	17
郡山	55
斑鳩	43
天理	162
東宇陀	17
田原本	71
北葛	297
桜井	122
香芝	105
宇陀	129
橿原	481
菟田野	41
東吉野	19
御所	82
吉野	51
中吉野	64
五條	96
川上	11
西吉野	7
天川	2
十津川	13
下北山	3
合計	2,230

『先月より2名減』

組合員 2,230名 支部組織人員(令和6年11月20日現在)

### ようこそ 組合の仲間へ

令和6年11月新加入(敬称略)

支部	氏名	年令	職種	紹介者
宇陀	山内 辰弘	60	大工	中尾 幸博
橿原	檜 徹太	27	鳶工	岩崎 真吾
橿原	寺戸 十樹	28	大工	丸田 翔平
橿原	中村 一貴	37	鳶工	門脇 岳
橿原	丸田 博	59	大工	浅岡 政則

### 心からご冥福をお祈りいたします

亡くなられた仲間

令和6年11月死亡

天理支部	仲野 喜造氏	大工	(92歳)
橿原支部	松下 茂和氏	設備工	(94歳)
中吉野支部	松本 広行氏	塗装	(70歳)
宇陀支部	新堂 和男氏	大工	(73歳)



### 今月の労災事故件数

(令和6年10月21日～

令和6年11月20日まで)

一人親方0件/一括有期3件

項目	一人親方	一括有期		合計
		職人	業主	
1. 墜落・転落	0	1	1	2
2. 転倒	0	1	0	1
3. 飛来・落下	0	0	0	0
4. 電動工具	0	0	0	0
5. 切れ・擦れ	0	0	0	0
6. 踏み抜き	0	0	0	0
7. 破壊・倒壊	0	0	0	0
8. 動作の反動・無理な動作	0	0	0	0
9. 交通事故	0	0	0	0
10. その他(激突・感電等)	0	0	0	0
合計	0	2	1	3

### 情報コーナー

各種試験・技能講習のご案内  
奈良県労働基準協会や防災防奈良支部では各種技能講習会をおこなっています。

※(組本)は組合本部が会場

#### ◎奈良県労働基準協会主催

問合せ先 074213612040

#### ◎玉掛け技能講習

学科 R7年1月27日～28日(組本) 実技1月29日

#### ◎石綿作業主任者技能講習

学科 12月12日～13日

#### ◎有機溶剤作業主任者技能講習

学科 11月28日～29日

#### ◎建築物石綿含有建材調査者講習

学科 R7年1月27日～28日(組本)

#### ◎フルハーネス型安全帯使用特別教育

学科 12月17日

#### ◎建設業労働災害防止協会主催

問合せ先 074212213345

#### ◎足場の組立て等作業主任者技能講習

学科 R7年1月15日～16日

#### ◎石綿作業主任者技能講習

学科 R7年1月28日～29日

#### ◎建築物石綿含有建材調査者講習

学科 R7年1月22日～23日

申込みは労働基準協会並びに防災防奈良支部までお問合せ下さい。  
基準協会や防災防ホームページでも確認できます。

ご注意下さい！令和6年分 確定申告から「令和7年1月1日提出より、申告書等（控）に税務署の收受印（受付印）がもらえなくなります！

# 確定申告書等（控）への 收受印（受付印）廃止について



【令和7年1月1日より変更】

これまで、書面提出による確定申告を行っていた方は、税務署への提出時に〔控え〕の用紙へ提出年月日入りの『收受印』受付印が押され、提出の証明とすることができていました。しかしこの度、国税庁(税務署)では「確定申告書等への控えに対し令和7年1月1日から收受印の押捺を廃止する」との通達がだされました。

このため、来年度の確定申告からは、控え書類への收受印がもらえなくなります。確定申告関係について、来年度以降は下記のように変更となりますのでご確認ください。

### 提出書類

#### ●今回の申告まで

確定申告書(提出用)と(控え)の両方を提出。

收受印が押されて返却された(控え)を保管します。

#### ●来年の申告から

確定申告書(提出用)だけを提出。

(控え)については各自保管し、提出年月日を記録しておく。



えっ？『提出した日付を自分で記録する』ってことは、来年以降は『税務署による公的な証明』が無くなるってことなの？

### 証明書等

来年度以降は收受印に代わる公的証明書の取得や確認手段として、国税庁(税務署)からは下記の5つの方法が提示されています。

① e-Taxによる申告(※)	③ 保有個人情報の開示請求	⑤ 納税証明書発行
電子申告時に送信される受信通知には氏名・住所・受付日時・番号等が記載されているため、この通知自体が提出の証明書となります。	税務署に開示請求をすることで申告書等の内容確認をすることができます。ただし利用には手数料と時間(300円/約1ヶ月)が必要となります。	税務署窓口にて証明書の発行を受けることができます。手数料は税目ごと1年度につき400円です。
② 申告書情報取得サービス 書面で提出の場合でもe-Taxを通じて無料でPDFデータを取得することができます。(※オンラインのみのため、利用にあってはマイナンバーカードが必要です)	④ 税務署での閲覧サービス 税務署窓口にて過去に提出した申告書等を閲覧することができます。また閲覧した書類を画像データとして撮影することも申請すれば可能となります。	「收受印廃止」について詳しくは下記QRコードからご確認ください  国税庁HP 

※既に① e-Tax（電子申告等）を利用されている場合は、特に対応頂く必要はありません。

奈良県建築労働組合

奈良県橿原市小綱町9-8

TEL0744-22-5115/FAX0744-22-9111